

Requested Patent: JP8156148A  
Title: MANUFACTURE OF LABEL AND LABEL  
Abstracted Patent: JP8156148  
Publication Date: 1996-06-18  
Inventor(s): NAKAMURA KAZUYASU  
Applicant(s): KEEP ONE:KK  
Application Number: JP19940329385 19941203  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B31D1/02

Equivalents:

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable production at a low cost even in a small lot by specifying freely the size of an original colored label by reading combined data such as photographs and logos by a scanner, projecting them on a color monitor, and photographing an image by a camera.

CONSTITUTION: Data to be prepared such as colored photographs 1, logos 2, photographs 3, a raw material 4 for a back pattern are inputted into a scanner 5, and the inputted data are projected on a monitor 7 through a personal computer 6. The projected image, including characters by a word processor etc., is layout-edited while designing on the scope of the monitor 7 through the personal computer 6. The edited image on the monitor 7 is photographed by a camera 8. A used film is developed, dimensions are adjusted, other things are done, and extra copies are made to be used as a colored label 9.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-156148

(43)公開日 平成8年(1996)6月18日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

B 3 1 D 1/02

識別記号

庁内整理番号

A 0332-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平6-329385

(22)出願日 平成6年(1994)12月3日

(71)出願人 593155994

株式会社キープワン

東京都大田区北千束2-31-1-103

(72)発明者 中村 一保

東京都大田区北千束2-31-1-103 株

式会社キープワン内

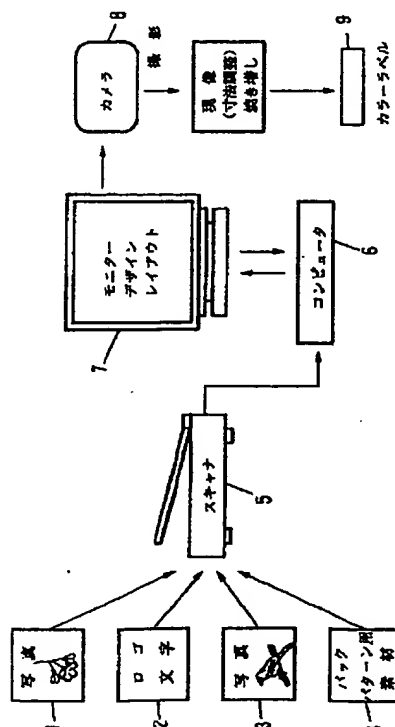
(74)代理人 弁理士 下田 達也

(54)【発明の名称】 ラベル製造方法及びラベル

(57)【要約】

【構成】 写真、絵、ポスター、ロゴ等の資料を単独、あるいは組み合わせてスキャナ5で読み取り、この読み取ったものを、コンピュータ6を介してカラーモニター7に映し出し、この画像をさらに、コンピュータ6を介してカラーモニター7上で組み合わせ編集して、オリジナルデザインを製作し、このカラーモニターの画像をカメラ8で撮影し、この写真ネガを焼き付けてオリジナルのカラーラベルを製造するラベル製造方法。及びこの製造方法で製造したオリジナルのカラーラベル。

【効果】 オリジナルカラーラベルを1枚からの小ロット生産でも安価に製造することが可能で、オリジナルカラーラベルのサイズを自由に簡単に指定して製造でき、さらに、モニター上で組み合わせデザインができ、これをダイレクトにカメラで撮影するために、製作スピードが早く、製作コストも安価にできる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 写真、絵、ポスター、ロゴ等の資料を単独、あるいは組み合わせてスキャナで読み取り、この読み取ったものを、コンピュータを介してカラーモニターに映し出し、カラーモニターに映し出された画像をカメラで撮影し、この写真ネガを焼き付けてオリジナルのカラーラベルを製造することを特徴とするラベル製造方法。

【請求項2】 スキャナで読み取ったものを、コンピュータを介してカラーモニターに映し出し、この画像をさらに、コンピュータを介してカラーモニター上で組み合わせ編集して、オリジナルデザインを製作し、このカラーモニターの画像をカメラで撮影するようにしたことを特徴とする請求項1記載のラベル製造方法。

【請求項3】 請求項1、または請求項2に記載の製造方法で製造したオリジナルのカラーラベル。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、小ロットのオリジナルカラーラベルでも廉価に簡単に製造できるラベル製造方法及びラベルに関するものである。そして、このオリジナルカラーラベルは、例えばライターの本体部分に貼着したり、ポケットティッシュペーパーの包装袋に貼着したり、挿し入れたりして利用するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、カラー写真の中にデザイン文字、または他のカラー写真等を入れたラベルを製造する場合は、オフセット印刷、あるいは、現物と同一の製品を製作後、それをカメラで撮影し、この写真ネガを焼き付けてラベルを製造することが従来から行われている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記の従来技術であるオフセット印刷では、カラー写真の中にデザイン文字（例えばロゴ）またはカラー写真を重ねて入れるオリジナルカラーラベルを製作する場合は、先ず、あるオリジナルなものをカメラで撮影し、このオリジナルカラーネガと、他のオリジナルカラーネガ、あるいはロゴを用いて、ネガのトリミング（位置及びサイズ合わせ）及びロゴ（あるいは他のネガ）の位置合わせ、サイズ合わせを行って、重ね焼きしてポジを作成する。このポジによって、版下を作成する。さらに、製版作成をするために、カラー写真とロゴを4色の色分解をして4版の製版を行い、その製版の色校正をして、本印刷を行う。このように多くの工程を経てラベルを製作するので、小ロットのラベル製作には高価になり採用することができない問題があった。

【0004】また、写真の場合は、モノクロで重ね焼きにするラベル。あるいはカラー写真とは別位置に重ねないようにロゴまたは他のカラー写真を組み合わせたラベルであれば可能であるが、カラー写真の中にデザイン

文字等のロゴ、または他のカラー写真を重ね入れる場合には、先ず現物と同一の実物を製作し、この実物をカメラで撮影して、ネガを得て、焼き付けてラベルを製作しなければならない。したがって、現物を製作する必要があるが、大ロットのラベル製作には可能であるが、小ロットの場合、先のオフセット印刷と同じように高価になってしまうので採用することができないという問題があった。

【0005】本発明は、これらの事情に鑑み、カラー写真、デザイン文字（ロゴ）、カラー写真等の資料をスキャナで読み込み、これをパーソナルコンピュータに接続したモニターに映し出す。さらに、ここで文字入力等を必要に応じて行い、コンピュータを介してモニターの画面上で望みの構成を作り上げ、このモニターに映し出された画像をカメラで撮影し、これを現像して、ネガを得、このネガを寸法調整して焼き増し、これを用いてオリジナルなカラーラベルを作るラベル製造方法及びラベルを提供することを目的とするものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、前記課題を解決するために、次の技術手段を採用した。請求項1記載の発明においては、写真、絵、ポスター、ロゴ等の資料を単独、あるいは組み合わせてスキャナで読み取り、この読み取ったものを、コンピュータを介してカラーモニターに映し出し、カラーモニターに映し出された画像をカメラで撮影し、この写真ネガを焼き付けてオリジナルのカラーラベルを製造するという技術手段を採用した。

【0007】請求項2記載の発明においては、請求項1記載のラベル製造方法に加えて、スキャナで読み取ったものを、コンピュータを介してカラーモニターに映し出し、この画像をさらに、コンピュータを介してカラーモニター上で組み合わせ編集して、オリジナルデザインを製作し、このカラーモニターの画像をカメラで撮影するという技術手段を採用した。

【0008】請求項3記載の発明においては、請求項1、または請求項2に記載の製造方法で製造したオリジナルのカラーラベルである。

## 【0009】

【作用】本発明は、以上の技術手段を採用した結果、簡単にオリジナルカラーラベルを製造できる。そして、1枚からでも生産可能な、小ロット生産に対応するのにベストである。しかも、ラベルサイズも容易に指定できる。何故ならばこれは、写真焼き付け時のズーム操作によりラベル（写真）の大きさを指定寸法に簡単に合わせることができる。また、同一ラベルの縮小サイズ、拡大サイズのラベルが容易に製作可能である。

## 【0010】

【実施例】以下、本発明の一実施例を添付図面に基づいて詳細に説明する。本発明は近年のカラーモニターの性能向上及び操作ソフトの充実により実現可能になったも

のである。

【0011】図1に示したものからも理解できるように、まず、カラー写真1、ロゴ2、写真3、バックパターン用素材4等、製作しようとする資料をスキャナ5に入力し、この入力されたデータをパーソナルコンピュータ6を介して、モニター7に映し出す。このモニター7に映し出された画像をワープロ文字等も含めて、パーソナルコンピュータ6を介してモニター7画面上で、デザインしながらレイアウト編集をする。この編集されたモニター7の画像をカメラ8で撮影をする。このカメラ8で撮影されたフィルムを現像し、寸法調整等して、焼き増す。これをカラーラベル9として使用できるようにする。さらに、裏面に接着剤、剥離紙等を貼着させると使用が簡便となる。

【0012】

【発明の効果】本発明は、以上の構成を採用した結果、次の効果を得ることができる。

(1) オリジナルカラーラベルを1枚からの小ロット生

産でも安価に製造することが可能である。

(2) オリジナルカラーラベルのサイズを自由に簡単に指定して製造することができる。

(3) モニター上で組み合わせデザインができ、これをダイレクトにカメラで撮影するために、製作スピードが早く、製作コストも安価にできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例に関するラベル製造方法を説明するブロック説明図である。

10 【符号の説明】

1・・・カラー写真

2・・・ロゴ

3・・・写真

4・・・バックパ

ターン用素材

5・・・スキャナ

6・・・コンピュ

タ

7・・・モニター

8・・・カメラ

9・・・カラーラベル

【図1】

